



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次

問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	23,670	5.0	1,648	34.0	1,921	61.2	1,335	129.1
24年3月期第3四半期	22,541	△10.1	1,230	△46.2	1,192	△42.9	582	△51.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,218百万円 (538.2%) 24年3月期第3四半期 190百万円 (△82.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	42.12	41.79
24年3月期第3四半期	18.41	18.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	33,903	26,169	77.0
24年3月期	34,064	25,479	74.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 26,093百万円 24年3月期 25,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	1.1	2,200	27.5	2,500	34.1	1,700	75.5	53.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別する場合は困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P. 3【サマリー情報(注記事項)に関する事項】をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	34,057,923 株	24年3月期	34,057,923 株
25年3月期3Q	2,350,568 株	24年3月期	2,365,584 株
25年3月期3Q	31,698,463 株	24年3月期3Q	31,646,664 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
(1) 製品区分別の売上業績	9
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興のための経済対策等により緩やかな景気の回復が続いていましたが、夏場以降はエコカー補助金終了等の政策効果一巡などの影響を受け、震災復興需要を牽引力とした回復基調にも陰りが見え始めました。また欧州経済の停滞、中国での経済成長の鈍化に加え、アジア諸国との関係の影響等を受け、輸出においては依然低い水準に留まりました。為替相場は引続き超円高が続いていましたが、昨年末の政権交代を機に株価の回復や超円高が是正されるなど今後における景気の下支え材料も見られました。

一方、世界経済は、米国においては住宅市場が徐々に回復し、加えて個人消費も底堅く推移していたものの、いわゆる「財政の崖」問題に直面しました。欧州については債務問題における課題が依然として多く残っており、金融市場の長期的な不安材料となる恐れがあります。中国では欧州危機に伴い経済成長が鈍化し、その回復の遅れが日本の輸出や生産の低迷、その他各国の経済に影響を与えました。さらに日中関係の影響が中国における日本製品の不買運動にもつながり、特に日本の自動車産業には大きな打撃を与えました。

当社グループにおきましても、夏場以降は自動車の生産台数の落ち込みや日中関係の影響、パソコン販売の不振に起因するHDDやプリンターの販売不振の影響を受けました。

このような環境の下で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は236億70百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は16億48百万円（前年同期比34.0%増）、経常利益は19億21百万円（前年同期比61.2%増）、四半期純利益は13億35百万円（前年同期比129.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[日本]

第2四半期以降における世界経済の失速の影響、国内消費の頭打ちやエコカー補助金終了に伴う顧客での生産減少の影響を受けました。第1四半期が好調であったことから結果として、売上高は190億95百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は17億18百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

[米国]

米国子会社の自動車精密部品は前年に供給開始した製品が好調に推移し、従来からの製品と併せて好調でした。一方、光通信部品の販売は引き続き低調に終わりました。結果として、売上高は19億91百万円（前年同期比43.9%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期は1億5百万円の損失）となりました。

[アジア]

ベトナム子会社及び中国子会社（広東省深圳市）ではプリンター関連部品が世界経済の失速や競合との競争激化により売上高は前年実績を下回りました。一方、中国子会社（広東省広州市）の自動車精密部品は好調に推移していましたが、夏場以降、自動車メーカーの在庫調整の影響を受けました。またタイ子会社は洪水の影響からの脱却により売上高は前年を上回りました。結果として、売上高は45億75百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は2億38百万円（前年同期比77.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、339億3百万円（前連結会計年度末比1億61百万円減）となりました。これは、建設仮勘定（有形固定資産の「その他」）が6億95百万円、中国での合弁事業参画等により投資有価証券が3億39百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が10億88百万円減少したこと等によるものであります。

[負債]

負債は、77億33百万円（前連結会計年度末比8億50百万円減）となりました。これは、未払金（流動負債の「その他」）が3億83百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が7億55百万円、確定納税等により未払法人税等が4億36百万円減少したこと等によるものであります。

[純資産]

純資産は、261億69百万円（前連結会計年度末比6億89百万円増）となりました。これは、為替換算調整勘定が1億22百万円減少した一方で、利益剰余金が配当により5億7百万円減少したものの、四半期純利益により13億35百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却に方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,298	8,567
受取手形及び売掛金	7,495	6,407
商品及び製品	1,321	1,332
仕掛品	1,474	1,279
原材料及び貯蔵品	1,235	1,262
その他	369	368
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	20,193	19,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,256	3,378
機械装置及び運搬具（純額）	4,612	4,267
その他（純額）	2,130	2,813
有形固定資産合計	10,000	10,459
無形固定資産	145	155
投資その他の資産		
投資有価証券	3,288	3,627
その他	436	443
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,724	4,071
固定資産合計	13,870	14,685
資産合計	34,064	33,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,657	3,902
短期借入金	263	246
未払法人税等	540	103
役員賞与引当金	—	18
賞与引当金	319	187
その他	2,062	2,510
流動負債合計	7,844	6,969
固定負債		
退職給付引当金	504	530
その他	235	233
固定負債合計	740	764
負債合計	8,584	7,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,744	2,745
利益剰余金	18,215	19,043
自己株式	△903	△898
株主資本合計	24,863	25,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,308	1,317
繰延ヘッジ損益	△0	△4
為替換算調整勘定	△796	△918
その他の包括利益累計額合計	511	394
新株予約権	104	75
純資産合計	25,479	26,169
負債純資産合計	34,064	33,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	22,541	23,670
売上原価	18,687	19,097
売上総利益	3,853	4,573
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	486	505
報酬及び給料手当	700	817
役員賞与引当金繰入額	16	18
賞与引当金繰入額	32	44
退職給付費用	84	79
その他	1,301	1,459
販売費及び一般管理費合計	2,622	2,924
営業利益	1,230	1,648
営業外収益		
受取配当金	64	85
物品売却益	45	53
為替差益	—	105
その他	64	42
営業外収益合計	175	287
営業外費用		
為替差損	198	—
支払利息	13	11
その他	2	3
営業外費用合計	213	14
経常利益	1,192	1,921
特別利益		
退職給付制度移行益	45	—
新株予約権戻入益	—	39
その他	2	2
特別利益合計	47	41
特別損失		
固定資産廃棄損	13	37
過年度関税追徴損	27	—
その他	0	0
特別損失合計	41	38
税金等調整前四半期純利益	1,198	1,924
法人税、住民税及び事業税	427	465
法人税等調整額	188	123
法人税等合計	616	589
少数株主損益調整前四半期純利益	582	1,335
四半期純利益	582	1,335

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	582	1,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	9
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	△116	△122
その他の包括利益合計	△391	△116
四半期包括利益	190	1,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190	1,218
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,115	1,382	4,042	22,541	—	22,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,261	1	414	1,676	△1,676	—
計	18,376	1,383	4,457	24,217	△1,676	22,541
セグメント利益又は損失(△)	1,582	△105	134	1,610	△380	1,230

(注) 1 セグメント利益の調整額△380百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,503	1,989	4,177	23,670	—	23,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,592	1	398	1,992	△1,992	—
計	19,095	1,991	4,575	25,663	△1,992	23,670
セグメント利益	1,718	61	238	2,019	△370	1,648

(注) 1 セグメント利益の調整額△370百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△358百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		金額	前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,971	13.2	2,999	12.7	27	0.9
精密機能部品	12,115	53.7	13,617	57.5	1,502	12.4
サスペンション	3,054	13.6	3,003	12.7	△51	△1.7
プリンター関連	2,736	12.1	2,453	10.4	△283	△10.4
デジトロ精密部品	1,552	6.9	1,467	6.2	△85	△5.5
その他製品	109	0.5	130	0.5	20	18.3
合計	22,541	100.0	23,670	100.0	1,129	5.0

[精密機能材料]

弁ばね材料については前年同期は震災の影響で国内自動車向け減少分を輸出向けとして販売しておりました。一方、当期は国内自動車メーカーの震災からの復興需要に合わせて当社グループ内における精密機能部品での使用が増えてきたことから前年実績を下回りました。精密異形材料については好調であったことから、精密機能材料全体としては29億99百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

[精密機能部品]

エコカー補助金終了等の影響を受けたものの、国内自動車産業の復興に伴い、エンジン用途、ミッション用途、安全装置用途及び機能部品すべてで前年同期実績を上回り136億17百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

[サスペンション]

第3四半期に入り新OSの販売がされたものの、依然としてパソコン市場の不振の影響を受けHDD市場も販売が伸びず30億3百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

[プリンター関連]

世界経済の失速に加えて、タイの洪水影響が一部残っていたことや競合他社との競争激化により24億53百万円(前年同期比10.4%減)となりました。

[デジトロ精密部品]

光通信部品の販売低迷により14億67百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,960	754	7,438	137	10,291
II 連結売上高（百万円）					22,541
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.7	3.4	33.0	0.6	45.7

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,721	514	7,513	236	10,985
II 連結売上高（百万円）					23,670
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	11.5	2.2	31.7	1.0	46.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……米国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。